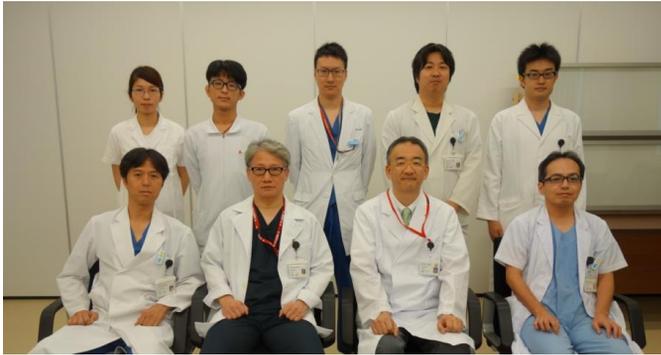


豊川市民病院 消化器外科



【当院の理念】

「信頼される医療の提供を通じて、地域住民の健康づくりに貢献する」ことを当院の理念として掲げています。

【当院の特色】

当院は東三河における中核病院の一つであり、スタッフ7名・後期研修医2名の計9名で診療に当たっています。癌を中心とした消化器疾患が主な対象で、上部消化管（食道・胃・十二指腸）、下部消化管（小腸・大腸）、肝胆膵など、ほぼ全ての消化器外科手術を行っています。

消化器外科領域では腹腔鏡下手術の適応が拡大されつつあり、当院でも特に消化管手術でその割合が大きく増加しています。2017年3月からは日本内視鏡外科学会技術認定医の資格を有する医師が加わって、これまでよりも進行した癌に対しても手術適応とするようになり、術後の負担が少なく、根治性の高い手術をさらに多くの方に受けていただけるようになりました。

最近、消化器癌の術前治療には長足の進歩が見られ、進行癌の根治を目指し、あるいは低侵襲化を目指し、術前化学療法（または化学放射線療法）を行って癌を小さくした後に手術、という新しい流れが出来つつあります。幸い当院には外来化学療法室や放射線治療の設備が整っており、既に一部の癌種でこうした治療を始めています。

また、市民病院である当院は地域のニーズに答えて救急医療を行っており、年間約6000台の救急車を受け入れています。当科の緊急手術は外傷を含めて年間120例前後ですが、可能な場合には定期手術で培った技術を応用して腹腔鏡下に手術を行い、早期の回復を得ています。

病床数	527床
手術件数 (2016年)	720件
日本内視鏡外科学会 技術認定医	1名
